



公益財団法人
福島県文化振興財団

ふくしま文化情報

《とうほう・みんなの文化センターと県内のイベント情報を掲載》

2025

6

June



県展

第79回 福島県総合美術展覧会

第78回県展 彫刻の部 福島県美術大賞「気化」本柳 幸音

県内最大規模の公募美術展

県内在住者および県出身者から公募した多彩な作品を鑑賞できる美術展。日本画・洋画・彫刻・工芸美術・書の5部門の受賞・入選作品と審査員を務めた招待作家の作品を展示する。

会期中、審査員の作品講評と意見交換を行う「出品者等研修会」も開催。28日(土)午後1時30分からは20歳未満の青少年対象(洋画部門のみ・要申込)、29日(日)午後2時15分からは一般公募者対象(全部門)で、来場者も参加できる。

6月26日(木)～6月29日(日)

【時 間】 9:30～19:00(最終入館 18:30)
初日は 10:00 から、最終日は 16:00 まで
(最終入館 15:30)

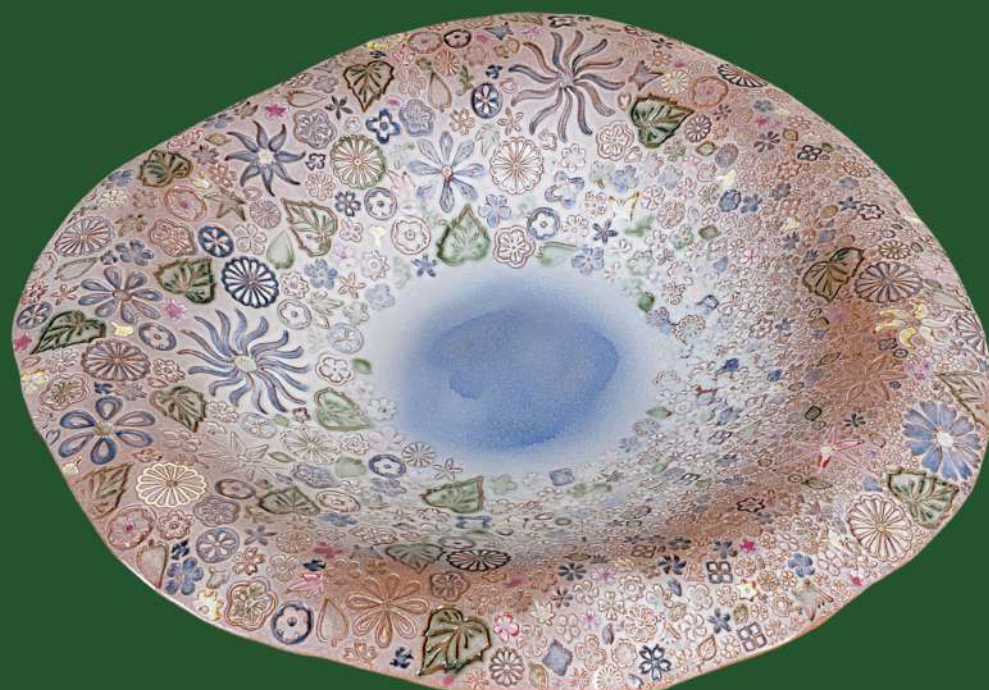
【会 場】 福島市・パルセいいざか
(福島市飯坂温泉観光会館)

※例年開催されてきた県文化センターが工事休館中のため、会場が変更になりました。

【料 金】 無料

【休 日】 会期中無休

【問 合 せ】 運営委員会事務局(県文化振興課内)
(024)521-7154



第78回県展 工芸美術の部 福島県美術準大賞「花野泉」井上 舞

○Event Schedule

イベントスケジュール 6月

※本誌に掲載した情報は、すべて5月10日現在のものです。
主催者の都合により掲載内容が変更となる場合がございますので、ご了承ください。

音 楽

6/1(日) チケット販売中
エノモティアード vol.5
所 二本松市コンサートホール 時 13:30
¥ 3,000円
出 榎本知香(ヴィオラ、二本松市出身)
榎本一輝(チェロ、同市出身)
舟久保優貴(ヴァイオリン)
花柳美匠治郎(日本舞踊)
曲 ヴィヴァルディ「四季」よりほか
問 事務局(080)1834-7539
※二本松市出身の兄妹演奏家たちによる弦楽器コンサート。日本舞踊家・花柳美匠治郎との共演ステージもある。



6/1(日)
桐音会箏曲演奏会
所 須賀川市文化センター 時 13:30
¥ 高校生以上1,000円、中学生以下無料
出 桐音会(箏)、風間禅寿(尺八)
曲 宮城道雄「飛鳥の夢」、ウルトラマンメドレーほか
問 事務局(0248)75-4663
※ゲストに尺八奏者の風間禅寿を迎え、生田流宮城社桐音会の会員総勢80名で演奏する。

6/1(日)
大槻玲香チェロリサイタル
所 福島市・ふくしん夢の音楽堂(福島市音楽堂)
時 14:00 ¥ 2,000円
出 大槻玲香(チェロ、福島市出身)、富山律子(ピアノ)
曲 バッハ「無伴奏チェロ組曲第3番 ハ長調BWV1009」
ポッパー「演奏会用ポロネーズ作品14」
フランク「チェロとピアノのためのソナタ イ長調」
問 実行委員会 rika.vc0@gmail.com
※地元福島市での初リサイタル。未就学児入場不可。

6/15(日)
二本松音楽協会第100回定期演奏会
藤木大地カウンターテナー・リサイタル
市民手作りのユニークかつ一流の演奏会
所 二本松市コンサートホール 時 13:30
¥ (前売)一般・大学生3,700円、小・中学・高校生1,000円
(当日)一般・大学生4,000円、小・中学・高校生1,000円 問 事務局(080)4519-0454
※「二本松に国内外の優れた演奏家を招き、手作りの音楽会を開こう」との趣旨のもと、1989(平成元)年に音楽愛好者で設立された鑑賞団体「二本松音楽協会」は、クラシックを中心に多彩な演奏会を開いてきた。100回を飾る本公演は、2017(平成29)年にウィーン国立歌劇場でのデビュー以降、ヨーロッパ各地の劇場に出演し、国際的に高い評価を得るカウンターテナー・藤木大地が登場。未就学児入場不可。

《スケジュール内の記号について》
チケット販売中 県文化センター管理事務所でチケット販売中
障がい者割引 障がい者無料 手帳など証明書類を所持参、主催者へ要問合せ
所 開催場所 出 出演予定者
時 開演・開始時間 曲 演奏予定曲
休 休館日 講 講師予定者
¥ 料金 題 演題
※(前売)の記載がない場合、当日券の料金(税込み) 問 お問い合わせ

6/1(日)
梁川交響吹奏楽団 第43回定期演奏会
所 福島市・ふくしん夢の音楽堂(福島市音楽堂)
時 15:00 ¥ 一般・大学生1,000円、高校生以下無料
出 甲斐誠(指揮)、梁川交響吹奏楽団(吹奏楽)
曲 2025年度全日本吹奏楽コンクール課題曲ほか
問 事務局(090)8424-9725
※1982(昭和57)年に梁川中学校吹奏楽部OBが結成した楽団。

6/8(日)
白河市合併20周年記念事業
白河市コミネス交響楽団 第4回定期演奏会
所 白河市・白河文化交流館コミネス 時 14:00
¥ 《全席指定》一般・大学生1,300円、高校生以下招待(要申込)
出 水戸博之(指揮)、大竹晃司(指揮)、関朋岳(ヴァイオリン)
白河市コミネス交響楽団(管弦楽)、白河市コミネス混声合唱団(合唱・オープニング出演)
曲 P.チャイコフスキー「歌劇『エフゲニー・オネーギン』より『ポロネーズ』」ほか
問 コミネス(0248)23-5300
※白河文化交流館コミネス附属のオーケストラとして2021(令和3)年に発足した楽団。「2024年第20回記念ハチャトゥリアン国際コンクール」ヴァイオリン部門優勝の関朋岳をソリストに迎える。未就学児入場不可。

6/8(日) チケット販売中
フィール・ウインド・オーケストラ
第24回定期演奏会
所 福島市・ふくしん夢の音楽堂(福島市音楽堂)
時 14:00 ¥ 一般・大学生1,000円
高校生以下無料
曲 「アルメニアン・ダンス」全曲ほか
問 事務局(090)7526-3747
※福島市を拠点に活動するアマチュア吹奏楽団による演奏会。様々なジャンルのダンス音楽・舞曲を披露。

6/8(日)
福島県民謡の祭典2025
第12回福島県民謡王座決定戦
所 三春町・三春交流館「まほら」
時 9:30 ¥ 無料 問 事務局(080)6004-5971
※ジュニア・一般・高年の部に分かれ、福島県の民謡を唄い競う。

6/15(日) チケット販売中
ふくしま太鼓フェスティバル2025
所 郡山市・郡山ユラックス熱海 時 10:00
¥ (前売)2,500円 (当日)3,000円
未就学児膝上鑑賞無料
(席が必要な場合は要チケット)
出 會津田島太鼓保存会、小町夢太鼓ほか
問 福島民報社事業局(024)531-4171
※県内13団体に加え、葛西啓之&和太鼓グループ
彩-sai、岩切響一が特別出演。出演団体は一部変更となる場合あり。

6/15(日)
郡山市民オーケストラファミリーコンサート17
～偉大な音楽家に導かれる音楽の魔法～
所 郡山市・けんしん郡山文化センター(郡山市民文化センター)
時 14:00
¥ 一般1,000円、大学生以下500円、未就学児無料
出 郡山市民オーケストラ(管弦楽)、小森康弘(指揮)
曲 ビゼー「歌劇『カルメン』より前奏曲」
ベートーヴェン「交響曲第5番『運命』より第1楽章」
J・ウィリアムズ他「ハリー・ポッターメドレー」ほか
問 事務局(090)3127-3671
※郡山市を中心に活動するアマチュアオーケストラによる、子どもから大人まで楽しめるコンサート。ベートーヴェン作曲の交響曲第5番「運命」の第1楽章など、有名な楽章を「いいとこどり交響曲」として演奏する。

6/15(日)
マンドリン・プロムナードコンサート2025
所 福島市、キョウワグループ・テルサホール(福島テルサ)
時 14:00 ¥ 無料
曲 加山雄三ヒットメロディ
シェルブールの雨傘
ピアノと管弦楽のための組曲「宿命」ほか
問 事務局(080)6004-5884
※1978(昭和53)年に福島市在住の社会人を中心に発足したサークル「福島マンドリンアンサンブル」の演奏会。3つのステージ構成でマンドリン合奏曲や昭和歌謡、映画音楽などを披露する。未就学児入場不可。

6/22(日)
混声合唱団「コアラ」第14回定期演奏会
所 会津若松市・會津風雅堂
時 14:00 ¥ 一般・大学生500円、高校生以下無料
出 混声合唱団「コアラ」(合唱)、穴戸真市(指揮)
曲 混声合唱組曲「水のいのち」
混声合唱のための唱歌メドレー「ふるさとの四季」
日本抒情歌曲集・近代日本歌抄「この道」「早春賦」ほか
問 事務局(090)9536-5887
※会津若松市の市民合唱団。1964(昭和39)年に作曲され歌い

継がれる名曲「水のいのち」をメインの演奏曲目とし、命の大切さをメッセージに込めた演奏会。

6/28(土)
ベルリン交響楽団 with 石井琢磨
所 福島市・ふくしん夢の音楽堂(福島市音楽堂) 時 15:00
¥ 《全席指定》S席ペア16,200円、S席9,000円、S席学生3,000円
A席ペア9,000円、A席5,000円、A席学生2,000円
※「学生」は、小・中学・高校・大学・大学院生
出 ハンスイェルク・シェレンベルガー(指揮)
ベルリン交響楽団(管弦楽)、石井琢磨(ピアノ)
曲 ベートーヴェン「序曲《コリオラン》Op.62」
シューマン「ピアノ協奏曲 イ短調 Op.54」
ベートーヴェン「交響曲第3番 変ホ長調 Op.55『英雄』」
問 音楽堂(024)531-6221
※ドイツで愛される名門オーケストラが、YouTuberとしても注目を集めるピアニスト・石井琢磨と初共演。未就学児入場不可。

6/29(日)
F.M.C.混声合唱団 第77回定期演奏会
所 福島市・ふくしん夢の音楽堂(福島市音楽堂)
時 14:00 ¥ 一般・大学生1,000円、高校生以下無料
問 事務局(080)1804-9653
※福島市を拠点に活動する、1947(昭和22)年創団の合唱団。ミサ曲のほか、日本の作曲家による混声合唱曲を披露する。

舞 台
6/21(土)
喜多方 酒蔵オペラ「愛の妙薬」
所 喜多方市・喜多方プラザ文化センター 時 14:30
¥ (前売)一般・大学生S席6,000円、一般・大学生A席4,000円
小・中学・高校生(A席のみ)2,500円
(当日)一般・大学生S席6,500円、一般・大学生A席4,500円
小・中学・高校生(A席のみ)3,000円
※残席があった場合にのみ、当日券の販売を行う
出 山崎隆之(指揮)
黒田詩織(ソプラノ、アディーナ役)
對馬紘也(テノール、ネモリーノ役)
宮本史利(バリトン、ベルコーレ役)
酒蔵オペラ合唱団(合唱)ほか
問 さわかみオペラ芸術振興財団(0570)023-223
※プロのオペラ歌手と公募で集まった一般市民による合唱団が、ガエターノ・ドニゼッティ作曲のオペラ「愛の妙薬」原語上演日本語字幕付きを上演。未就学児入場不可。

6/28(土) 障がい者割引
親子で楽しむクラシック名曲コンサート
はじめてのこどもオペラ「3匹のこぶた」
所 郡山市・けんしん郡山文化センター(郡山市民文化センター)
時 10:30
¥ 《全席指定》中学生以上2,500円
4歳以上小学生以下500円
3歳以下膝上鑑賞無料
(席が必要な場合は要チケット)
問 郡山市民文化センター(024)934-2288
※0歳児からの子どもと一緒に見て聴いて楽しめるファミリー向けのステージ。オペラの名曲演奏や手あそびのコーナーも。



自主上映

5

6/26(木)～6/29(日)
第79回 福島県総合美術展覧会

所 福島市・パルセいいざか
(福島市飯坂温泉観光会館)
時 9:30～19:00(最終入館18:30)
初日は10:00から、最終日は16:00まで
(最終入館15:30)

休 会期中無休 料 無料
問 運営委員会事務局(県文化振興課内)
(024)521-7154

※詳細は表紙参照。



県外

開催中～6/22(日) ながい者割引
特別展「上杉家の御殿～城・藩邸・伯爵邸～」

所 山形県・米沢市上杉博物館
時 9:00～17:00(最終入館16:30) 休 5/28
料 一般800円、高校・大学生500円、小・中学生300円
問 博物館(0238)26-8001

※米沢城の本丸御殿の空間構成と部屋ごとの機能、上杉家の
人々の暮らしと儀礼、家臣団の職制や仕事ぶりなどが分かる絵
図類や国宝「上杉家文書」などを展示する。

開催中～6/29(日) ながい者無料
まど・みちおのうちゅう
ーうちゅうの あんなに とおい あそこに さわるー

所 栃木県・宇都宮美術館
時 9:30～17:00(最終入館16:30) 休 月曜日
料 一般1,200円、高校・大学生1,000円、小・中学生800円
問 美術館(028)643-0100
※詩人、まど・みちおが制作した絵画作品を、周南市美術博物
館収蔵品約60点を中心に公開。あわせて、創作ノートや原稿、
編集者時代に手がけたカットなど約240点の資料を展示し、そ
の生涯を辿る。

6/27(金)～8/24(日) ながい者無料
徳川十五代將軍展～国宝・久能山東照宮の名宝～

所 新潟県立近代美術館
時 9:00～17:00(チケット販売は16:30まで)
休 月曜日(7/21、8/11をのぞく)、7/22
料 (前売)一般1,600円
(当日)一般1,800円、高校・大学生1,400円
中学生以下無料

問 美術館(0258)28-4111
※静岡県・久能山東照宮の附属博物館に収蔵されている徳川家
の歴代十五代將軍の甲冑や書画、家康の愛用品など国宝2点・
重要文化財31点を含む、約100点を展示。

講演・講座

6/7(土)
第8回 れきしら解説講座

所 白河市役所本庁舎 時 10:00 料 無料(要申込)
講 白河市文化財課学芸員 題 白河関・奥の細道
問 白河市まちづくり推進課(0248)28-5533
※定員先着50名(要申込)。白河歴史の手引き『れきしら』
入門編をテキストに、白河関と奥の細道にまつわる歴史につい
て解説。電話にて申込受付。

6/7(土)
博物館講座
「野馬追の精神と藩政への影響について」

所 南相馬市博物館 時 13:30 料 無料(要申込)
講 二上裕嗣(元県立医科大学非常勤講師)
問 博物館(0244)23-6421
※定員先着40名(要申込)。“領民の安寧を祈願する”という
野馬追の精神と、藩政のつながりを示す事例を紹介。電話にて
申込受付。

6/14(土)
まほろん第1回館長講演会
「日本歴史の扉を開いた遺跡(1)」

大阪府仁徳陵古墳・奈良県箸墓古墳ー古墳時代ー
所 白河市・県文化財センター白河館まほろん 時 13:30
料 無料 問 まほろん(0248)21-0700
※まほろん館長・石川日出志による講演。

6/21(土)
第1回宮畑講座
「福島市内の縄文時代前期～中期の集落遺跡」

所 福島市・じょーもびあ宮畑 時 13:30
料 無料(要申込) 講 堀江格(同館職員)
問 じょーもびあ宮畑(024)573-0015
※定員先着80名(要申込)。福島市内の縄文時代の集落につ
いて、縄文時代前期から中期にかけての集落の変遷と竪穴住
居の特徴を解説する。電話またはメール(jomopia-miyahata@
bz04.plala.or.jp)にて申込受付。

6/25(水)・26(木)
あつかし歴史館 歴史講座
「伊達政宗・パートⅢ」

～小田原参陣 秀吉・家康そして政宗～
所 国見町文化財センターあつかし歴史館
時 両日とも10:00、13:30 料 無料(要申込)
講 笠松金次(同館職員)
問 あつかし歴史館(024)585-4520
※国見町の歴史文化遺産にかかわる調査・研究の成果を用いた
講座。来館または電話にて申込受付。受付状況は要問合せ。

その他

6/1(日)
ワークショップ「じんじんさんとおさんぽ会」

所 会津若松市・県立博物館および館外
時 10:00 料 保険料として50円
講 きむらとしろうじんじん(美術家、陶芸家)
問 博物館(0242)28-6000
※要申込。企画展「ボーダーなき世界を一福島県立博物館と
Well-beingー」関連イベント。自分が魅力を感じる場所や風
景について、講師とともに語り合い実際に外に出てみるワーク
ショップ。博物館受付または電話にて申込受付。

6/7(土)
いわき市立草野心平記念文学館
ボランティアの会事業「朗読サロン」

所 いわき市立草野心平記念文学館
時 11:00 料 無料 問 文学館(0246)83-0005
※ボランティア会員が講師を務める朗読の講座。

財団トピックス

福島県文化財センター白河館まほろん



県文化財センター白河館まほろん企画展
「U-15の考古学ー発掘調査で何がわかる?ー」
6月からスタート!

15歳以下の子どもたちを対象に、本県の歴史をわかりやすく解説
する企画展「U-15」シリーズの第4弾。

「遺跡」とは、地面の下に残された、遠い昔から現代にいたるま
での人々の営みの痕跡のこと。これを適切な方法で掘り起こして様
々な情報を取り出し、記録して、未来に引き継げるようにまとめる行
為が「発掘調査」です。発掘調査では、文字がないはるか昔や、文
字はあっても記録として残されなかった庶民の暮らしの様子をうか
がい知ることができます。

本展では、県内の様々な遺跡の「発掘調査の現場」にスポットを
当てて、むかしむかしの福島についてどのようなことが分かってき
ているのか、また、発掘調査はどのようにして行っているのか紹介
します。

これから歴史の学習を始める小・中学生の皆さんから、考古学に
初めて触れる大人の方まで楽しめる展示です。

U-15の考古学ー発掘調査で何がわかる?ー

【会 期】6月14日(土)～9月23日(火・祝)
【時 間】9:30～17:00(最終入館16:30)
【休 日】月曜日(7/21、8/11、9/15、9/22をのぞく) 7/22、8/12、9/16
【会 場】白河市・県文化財センター白河館まほろん
【料 金】無料
【問合せ】まほろん(0248)21-0700

とうほう・みんなの文化センター(福島県文化センター)
管理事務所で販売中のチケット

当事務所の窓口では、以下のチケットを販売しています。管理
事務所へのアクセスは、文化センター公式YouTubeチャンネルで
ルート案内動画を公開しています。お気軽にお立ち寄りください。

○所 在 地 〒960-8115 福島県福島市山下町1-25
○営業時間 月曜～金曜 9:00～17:00
○定 休 日 土曜・日曜・祝日と年末年始(12/28～1/4)
○連 絡 先 TEL(024)534-9191、FAX(024)536-1926



〈自家用車の場合〉



〈公共交通機関の場合〉

イベント名	会場	開催日時	料金(前売)	お問合せ
エノモティアーデ vol.5	二本松市コンサートホール	6月1日(日)13:30	3,000円	事務局(080)1834-7539
フィール・ウインド・オーケストラ 第24回定期演奏会	福島市・ふくしん夢の音楽堂 (福島市音楽堂)	6月8日(日)14:00	1,000円	事務局(090)7526-3747
ふくしま太鼓フェスティバル2025	郡山市・郡山ユラックス熱海	6月15日(日)10:00	2,500円	福島民報社事業局(024)531-4171

震災からの県民の「心の復興」と福島県を担う人材育成を目的に実施する公益目的事業「未来への文化発信事業」を推進しております。

この事業への寄附をお願いします。



スポットライト

— 今、注目のイベント情報 —

本宮映画劇場 111 周年記念上映会「ローマの休日」

大正時代に生まれた劇場 映画の原点にふれる鑑賞体験を

#9 本宮映画劇場 館主 田村 修司さん

1914(大正3)年に開館した本宮映画劇場は、今年で開館111周年を迎えた。一度は閉館するも復活を遂げ、今も館主の田村修司さんが年に数回の上映会を行っている。JR本宮駅の南西、住宅街の路地裏に建つ木造3階建ての建物は開館当時のまま。希望があれば見学も受け付けており、昔ながらの雰囲気に興味を持った若者も多く訪れるという。

劇場は芝居小屋「本宮座」として誕生し、当初は公民館としての役割も果たしていた。先代である田村さんの父・寅吉さんが1943(昭和18)年から経営すると映写機を設置し、館名を変え本格的な映画館となった。

小学5年生の時から映写を手伝い、自然に技術を覚えたという田村さん。20歳で劇場を継ぎ、映画ブームの昭和20年代には、多数の名作を上映した。しかし、昭和30年代になるとテレビの普及により映画産業は衰退。劇場は1963(昭和38)年に閉館した。

田村さんは自動車メーカーに転職したが、再開を見据えて館内の清掃や映写機の手入れを続けてきた。現役のカーボン式映写機は、



カーボン式映写機と館主・田村修司さん。
この映写機を操作できる技師も今ではほとんどいないという

今では全国でも数台しか現存しない貴重なものだ。「映写機の調子が悪くなった時は必死で修理した。『また映画を上映したい』という一心だった」と振り返る。2008(平成20)年、知り合いのために45年ぶりに映写機を回したことが新聞で紹介されると、劇場の名が全国に知られることとなった。

「ローマの休日」は、全盛期だった昭和20年代に上映した思い出の作品。田村さんは、「映画を大勢の人と一緒に観る面白さを味わってほしい。ここは映画の原点が分かる場所。若い人にもぜひ体験してほしい」と語る。



ピンク色の壁が目を引く劇場の外観

本宮映画劇場 111 周年記念上映会「ローマの休日」

日時：6月7日(土)・8日(日) 両日とも 14:00

会場：本宮市・本宮映画劇場

料金：1,000 円

問合せ：劇場 (0243)33-1019

※定員各日先着 50 名。電話または E メール
(motomiyaieigeki1914@gmail.com) にて予約可能。
上映会終了後には、劇場内の見学もできる。